

益城町を「自慢できる町」に!!

総合計画まちづくりワークショップ提言書を提出



提言書を手渡す内田芳晴さん(惣領2町内・写真左)

町の現状や今後のまちづくりについて、住民の生の意見を取り入れた計画づくりを目的として、昨年11月から開催していた「まちづくりワークショップ」の提言書がこのほどまとまり、4月5日、町長に提出されました。

このワークショップは、昨年10月に町で募集し、希望した23人の住民の方と木山中学校および益城中学校の生徒会で構成されています。

11月から月1回ペースで、6つのグループに分かれて、町の将来像について自由に意見交換し、それを具現化するための重点策を整理して、提言書としてまとめました。

提言書提出の際には、「自分たち



町長と意見交換をするワークショップメンバー

の住んでいる町を『自慢できる町』として発展させるため知恵を出し合いました。これからのまちづくりの参考にしていただきたい」と述べられました。これを受けて町長は、「皆さんの提言が無駄にならないように、すぐにできるものは早速に実施し、一つでも多く実現させていきたい」と答えました。

提言書の内容については、町のホームページに掲載中で、役場企画財政課と交流情報センターでの閲覧が可能です。また、6月号の広報まじきでも紹介する予定です。

交通ルール守ります

広安西小で交通安全教室

「右見て、左見て、もう一度右を見て」。

4月14日、交通安全教室が広安西小学校（本田尚一校長）で開催され、1、2年生は横断歩道の渡り方、3年生以上は自転車の正しい乗り方を学びました。

この日、運動場には信号機のある交差点や横断歩道が設けられ、御船警察署の田中哲也交通指導係長をはじめ、御船地区交通安全協会（西口俊一会長）、地元の交通安全協会員、交通指導員が、横断歩道を渡るときの左右の確認や、自転車の停止位置などをきめ細かく指導。子どもたちも交通ルールの大切さを実感していました。



横断歩道の安全な渡り方を学ぶ子どもたち



威勢のいい踊りと掛け声で会場を盛り上げた益城よさこい躍進隊

桜舞う中多彩なステージ

弾正祭開催

4月4日、桜舞う木山城趾公園で「弾正祭」が華やかに行われ、300人を超す人出でにぎわいました。

これは、かつての木山城主の木山弾正をしのぶとともに、文化の振興と地域住民の友好、親睦を図るため、弾正保存会（増永信喜会長）が毎年開催しているものです。

この日は春の穏やかな陽気で、花見を楽しむ家族づれが多く、勇壮な広崎雨乞い太鼓をはじめ、歌や踊りなどの多彩な出し物やうらた剛さんのミュージックショー、坂本春男さんの大道芸ショーなどにさかんな拍手を送り、春の一日を満喫していました。